



今年の夏はとてもし暑い暑さとなり職員の皆様、体調は大丈夫でしょうか？
まだまだこれから暑い日が続く模様ですので体調管理には十分気をつけて下さい。

レベルI（リフレッシュ）研修

研修生より レベルI研修生 6病棟 益崎 恵理子

今回のリフレッシュ研修では、卓球大会・バーベキュー・相談会を行いました。病棟を越え、クジ引きでチームを組んだとは思えないチームワークで白熱した試合となりました。当日は晴天で、常に汗が流れるような気温でしたが、炭火で焼くお肉や野菜の美味しさで暑さを忘れるほど楽しかったです。最後の相談会は、今回の研修で一番印象に残っています。病棟は違っても、同期の皆が同じ様に悩みを抱えて奮闘している様子が分かり、自分は一人ではなく支え合える仲間がいるのだと気づき前向きに考えることができました。心身共にリフレッシュでき、今後の働き方も話し合う事ができたとても楽しく有意義な研修でした。

研修担当より レベルI研修担当 5病棟副看護師長 須崎 美香

7月13日（金）に新人・新任合同のリフレッシュ研修を行いました。今回の研修では心身のリフレッシュをはかり、モチベーションが向上することを目的とし、リフレッシュ大牟田にて卓球・バーベキュー・レクリエーションを行いました。卓球では3チームに分かれてダブルスの試合を行い、みんなで楽しく、白熱した試合となりました。バーベキューでは準備から片付けまでグループで協力して行い、楽しい時間を過ごしました。卓球・バーベキューを通してリフレッシュでき、これまで以上に仕事を頑張っていきたいとの意見が聞かれました。



インターンシップ

H29年度より、新人看護師確保プロジェクトとして、病院見学とインターンシップの受け入れ強化を行っています。各病棟スタッフの協力もあり、本年度は病院見学22名、インターンシップ7名、両方参加4名と多くの学生、既卒者の方々に参加してもらいました。参加者も、年齢に近い2,3年目の看護師の意見が聞けたことやリアルな現場の意見や看護場面を見学、経験することで就職希望の高まりにも繋がっています。また、対応した病棟スタッフも、「何故、大牟田病院を選んだのか」「看護のやりがいやおもしろさ」などを語ることでリフレクションでき、双方に効果的な取り組みに繋がっているのではないかと感じています。今後も、より良い病院見学、インターンシップの受け入れが出来るよう病棟スタッフの皆様のご協力をよろしくお願いします。

担当 看護師長：太江田・甲斐・江藤
副 師 長：高畑・仲・川原

大蛇山まつり



7月28日の、大牟田大蛇山祭り1万人総踊りは、これまでにない猛暑の中、院長を始めとして多数の参加により大変有意義になりました。小倉祇園太鼓や博多どんたくなど、国立病院機構の他の施設でも地域祭りに参加していますが、大牟田病院が総踊りへ参加することは歴史も長く、患者さん、御家族にも認知され、親しみを感じています。以前の古山正人院長より「参加する事は、病院存続、職員間交流にとっても、地域との関わりとして大変良いものなので出来る限り長く続けてほしい」との言葉がありました。私自身も共感し、毎年楽しく参加しています。

今年も準備から尽力していただいた方々、『大蛇山ばやし』『炭坑節』の踊りを指導していただいている看護師の山下さんありがとうございます。諸事情で、残念ながら参加出来なかったすべての方々に感謝申し上げます。

来年も一緒に楽しく参加し、元気な大牟田病院をアピールしましょう。

7病棟 看護師 原 正勝

